



2019年度、1年間の本校生徒(1～3年生)の資格・検定の合格状況^{※1}をまとめました。「英検」や「数検」等の普通教科系の検定試験とともに、**工学系高校ならではの資格・検定合格が数多くありました**。普通科高校とは異なる本校の特色ある取り組みのひとつです。

資格・検定の名称	合格数
第一種電気工事士	4名
第二種電気工事士	33名
工事担任者DD3種	7名
第2級陸上特殊無線技士	13名
ITパスポート	1名
危険物取扱者乙種4類	2名
消防設備士乙種7類	4名
技能検定3級 普通旋盤作業	3名
技能検定3級 機械検査作業	33名
アーク溶接特別教育修了	27名
ガス溶接技能講習修了	12名
情報技術検定 1級	1名
情報技術検定 2級	12名
情報技術検定 3級	62名
計算技術検定 2級	5名
計算技術検定 3級	117名

資格・検定の名称	合格数
測量士補	14名
2級土木施工管理技術検定	35名
2級建築施工管理技術検定	4名
技能検定3級 建築大工	15名
3級建築CAD検定	10名
4級建築CAD検定	6名
福祉住環境コーディネーター3級	2名
3級建設業経理事務士	3名
4級建設業経理事務士	25名
トレース技能検定 3級	9名
工業英語能力検定 4級	33名
実用英語技能検定 2級	3名
実用英語技能検定 準2級	8名
実用英語技能検定 3級	3名
実用数学技能検定 2級	6名
実用数学技能検定 準2級	4名

※1 表中記載に示す合格状況は、あくまでも「合格」であり、「取得」ではありません。資格検定により、「合格により取得」、「合格後の申請により取得」、「卒業後の実務経験を要する取得」、「さらに実技試験合格を要する取得」等があります。

2019年度 顕彰・表彰の名称(抜粋)	基準点数 ^{※3}	授与数
ジュニア・マイスター『ゴールド』 	45点以上	13名
ジュニア・マイスター『シルバー』 	30点以上	14名
ジュニア・マイスター『ブロンズ』 	20点以上	29名
令和元年度 京都市教育委員会教育長表彰		48名

上記の資格・検定の種類や内容、難易度などを詳しく知りたい場合、学校説明会等の個別相談、または工業科教員までお問合せ下さい。

さらに、意欲的に複数の難関資格・検定にチャレンジし、合格を勝ち取った生徒がいます。このような特に秀でた実績を残した生徒を顕彰する制度があります。これを、全国の高校生を対象とする『**ジュニア・マイスター^{※2}**』と言います。取得・合格の結果を点数化(在学3年間の累計)し、その合計得点により『ゴールド』・『シルバー』・『ブロンズ』の称号が授与されます。また、同様に京都市教育委員会が資格取得に対して表彰する制度もあります。

これらの資格取得や顕彰の成果は、**大学受験や公務員・就職試験において、大いに有利になる**だけでなく、人生の武器となることは言うまでもありません。中学生の皆さんの『高校選び』の参考として下さい。

※2 ジュニア・マイスター：この制度は、社会が求める専門的な資格・知識を持つ生徒の輩出を目的とし社会及び大学や企業に向けた工業高校の評価向上を目指して設立されたものです。将来の仕事や学業に必要と考えられる国家職業資格や各種検定、及び各種コンテストの入賞実績を点数化したものを(公財)全国工業高等学校長協会が顕彰授与します。

※3 基準点数：ジュニア・マイスター顕彰の認定基準。上記、表中の資格検定の個々の点数は、(公財)全国工業高等学校長協会のホームページをご参照下さい。

【例えば】生徒Aさんの場合

測量士補：20点 + 計算技術検定2級：7点 + 英検準2級：4点 = 合計得点：31点 → ジュニア・マイスター『シルバー』授与

